伯西剌時報
Snr. H. Koda 古田秀也殿 第一アパート 第三號
伯西剌時報社 電話七一四六七〇 社長 黒石清作
珈琲 サントス四號 十キロ 二四五〇 リオ七號 二一〇〇〇
爲替 對日 四、六〇 對米 一九、七七〇 對英 八〇、〇一〇
購讀料 一ヶ年 六十粁 半ヶ年 三十粁

佛の困惑全く無視
米、自己護身にこれ懸命

ハノイ某紙論調米批難に急變

―獨佛協定が大衝撃 英米依存の迷夢醒む―

【ハノイ廿一日同盟】獨佛新協定の成立は、未だ英米依存の夢から醒めぬ當地の一部佛人に對して大衝撃を與へてをり、この事實は日、佛印協定成立後も相變らず英米側に有利な情報を大々的に掲載してゐた當地新聞の論調が協定成立と共に大轉換を示した事に依つても看取される

最も濃厚であつたベロシデ・アンドレ上院議長が「トシノズ紙は、『米國はフランス左の如く論じて

クリート島に英軍5

海岸向け退却始まる

【倫敦廿二日發】（U P 電）クリート島は今や全地域に亘り濃く海岸向け逃走を始め、待ち構へてゐた獨軍が侵入、到る處で英軍の退却の準備中である

【伯林二十二日發】（T O 電）

獨機編隊マルタ島痛爆

多數英機爆砕、格納庫炎上

【伯林二十二日發】（T O 電）伊領シシリー島にある獨空軍大編隊は二十一日、英海空軍の要衝マルタ島を空襲、ルカ空軍根據地を爆撃して地に

米、參戰へ重大示唆

クッス長官・中立法廢棄を要請

【華府二十二日發】（U P 電）ノックス米海軍長官は本日、公開席上に於て「米艦船が英國及び戰爭地域内を自由に航行し得るため、中立法案の廢棄を要請する」と語つた、米よりの援英物資の大部分が獨逸空軍のため撃沈へ沈められてゐる現在、ノックス長官の右聲明は、米海軍の積極的援英任務に就かんとするを示唆

閑院宮春仁王殿下 同盟通信社へお成り

【東京廿二日同盟】夙に國力戰研究所の講義を御聽講遊ばされてゐる閑院宮春仁王殿下には廿二日午後國所長飯村穣中將引率の研究所生四十名と共に、同盟通信社へ御見學の爲御成り遊ばされた、殿下には八階會議室にて約一時間に亘り古野社長の〃同盟通信社の機構と世界宣傳戰〃に關する講演、社内に引續く同社幹部と研究所生の懇談會を御熱心に御聽遊ばされたのち社内の實務に就き親しく御見學、次で日本廣告社へ成らせられた、試寫室でニュース映畫、科學映畫（レントゲン線の發明）等を御覽遊ばされた

大橋次官病氣全快

山本民代理免せらる

【東京二十日同盟】外務人事（五月十九日附）

外務省東亞局長 山本 熊一

外務次官大橋忠一病氣全快に就き同次官代理を免ず

綿布 相場

【東京二十二日同盟】綿布 〇〇、五二五、五四六、五六五、五七五、五九九

人絹聯合 務會

【東京二十二日同盟】人絹聯合會では二十一日總務部會を開き、當性對策の供給不足に關する協議を行つたが、差當つての暫定措置として人絹糸生産計畫は五月度數量を制限することに決定した

米護送商船隊 英向け航行の曉

帝國愈々參戰決意？

駐日米大使 通じ松岡外相・傳達方要請

【華府二十二日發】（U P 電）米參戰の機愈々接迫せるものとして注目されてゐる二十七日ヒ上院とになつた、これに關聯して松岡外相は、駐日米大使に對して、「米國は民主國援助のため、米海軍に護衛された米商船隊が英國及び交戰區域へ航行せるるであらう」と言明したが故に日本は三國同盟の義に則り、獨伊側に立ち參戰するや否やに關する何等かの意思表示をなすものと見られ、東京廿二日

時々話題

米商船隊を米海軍が護衛して交戰水域を航行英國へ即へば日本は參戰するとの報道が傳はつた、

米の商船護衛はそれ自身直ちに獨逸への挑戰であり、大戰の渦中へ米國が飛び込むことゝなる譯だ、しかし「英國は助けなければならぬが戰爭だけは眞平御免である」といふのが現在に於ても

且つ米の眞の眼であると觀測される、大統領と雖がりを云ふ點に於て米は正に世界一であるが、商船護衛をやるとか云ひ、またやらぬやうなことを云ふ、護送船行の急先鋒に見られて居り、米海軍最高の統帥者でもあるノックス海軍長官は、對英軍需品輸送を阻止する中立法の廢棄を強硬に主張しながら商船護送問題につき記者團に突込まれるや言葉左右に託して明答を與へないル大統領は十四日に行ふ米

の記者會見に於ても態度表明の演說を二十七日まで延したが、その理由は商船護送に關してどう發言してよいか迷ひ惱んでゐるものゝ如くだ、米上院海軍委員長ウォールス氏は某會合の席上、自分の机上には僅か今米各地から機械國に對し宣戰布告すべしとの手紙が山積してゐる、今や米の輿論は參戰へ急進してゐる、と述べてゐるが、しかも强がりは云つてるが假に英國が全く負けて終つても出來るだけ參戰は回避したいといふ意思が未だ大部分米の民衆を支配し、ル大統領以下も是等輿論の動向と、米國軍備の能率性に鑑み、愼むべきか、自重すべきかに考へあぐんでゐるものゝ如くである

商船護送に二の足

米政府内に贊否兩論對立

急先鋒ノックス長官 記者團質問に言を左右

【伯林二十二日發】（A P 電）獨逸側は本日、巴里にある各國大公使館に對し獨逸を始めとする二十七日ヒ上院とになつた、これに關聯して松岡外相は、駐日米大使に對して、「米國は民主國援助のため、米海軍に護衛された米商船隊が英國及び交戰區域へ航行せるるであらう」と言明したが故に日本は三國同盟の義に則り、獨伊側に立ち參戰するや否やに關する何等かの意思表示をなすものと見られ、東京廿二日

雲行慌し南太平洋

物々し全島攻防の構え

高十穂丸船長歸來談

【東京二十二日發】（T O 電）目下の南太平洋一帶は物々しき戰備强化により、危急迫れりの感を增加しめてゐるが、東京紙は、最近南太平洋航海の旅から歸つた高十穂丸船長談を次の如く掲載してゐる

ニューギニア島モレスビー港は英海空軍の根據地としての防備工事を急いでゐるが同地には英軍隊の外、約四千のオーストラリヤ兵が駐屯中であり、港には數米每に武裝兵が配置され、連射高射兩砲、野砲等港外向け發砲の構えをとり、又ニューブリテン島は英佛兩國の島嶼が散在してゐるが、フオン島は英米共同で大規模海空軍基地建造を急いで居り、三千のオーストラリヤ兵が駐屯、その他の小島の如きには到る處に潛水艦、小艦艇が待機してゐるのが見られる等、南太平洋は正に戰爭狀態を呈してゐる

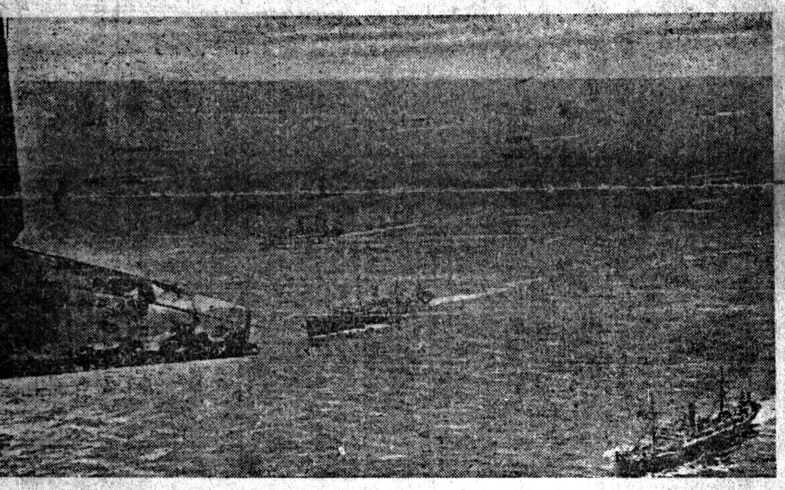
シリヤ英領事館 バスタインレ スへ總引揚げ

英米人も逃避中

【ダマスクス二十二日發】（R 電）シリヤ各地にある英國領事館は全部閉鎖され、領事初め館員は皆ベレスタインへ引揚げ、其他の在住英米人も續々引揚中である

ペタン主席 シリヤ佛軍へ防備を命令？

【ベールト二十二日發】（T O 電）ヴィシー發ラヂオは、ペタン主席の親書を持參して當地駐佛獨總司令官ダンツ將軍に手交したが右親書はシリヤ防備に關する



英の護送船團 魔の大西洋越え

獨空軍 潜水艦は愈々猛威逞ふして大西洋上は 全く魔の海と化した 生きて戰ねばならぬ英 商船隊を悲壯な決意で擁護して相ひ走つて

「ニューヨーク廿二日同盟」ノックス海軍長官は二…の共同會見…英軍…めてゐる…

新駐米大使 重慶へ赴く

前大使は歸米の途へ

【香港廿二日同盟】去る十七日從來香港に在つてジョンソン前大使との事務引繼ぎ及び

在巴里各國大公使館 獨からヴィシー移轉命ぜらる

【伯林二十二日發】（A P 電）獨逸側は本日、巴里にある各國大公使館に對し佛國を始めとする

二人草三郎

（五十三）

小川 雄坡 侑廣

影と實（八）

伊香保からの歸途、狼に襲はれたのを恒川半三郎達に救はれ、その館に往底へ落ちたあれから後の二人の運命を案じ續ひ乍ら——草三郎といふその名を、病める胸に深く刻み付けて歸つた尾影の息女小夜の若達に會つて、一應事情を聞き取ることになつた。

直之進、玄關から門内へ來ると

「御關門を開ひます、御關門を——」

等と、門外から騒く聲。

「これ〳〵」

と直之進が門番に、

「關門せい」

「でも右樣……」

「餘迷つた奴等が、何を致しますか——」

門番が聞踏ふのを、

「ばか者を申せ。さ、よいから早々關門せい」

「村方一統より小者小助は申す に及ばず、獄々共まで誠に難渋致して罷ります」

與口聞番に喋るのを、

「これ〳〵、一同が左樣に同時に申し立てゝも分らぬ。勝かに一同を代表致す者が、一兩名前へ出い」

「へヽヽヽ」

とその中の年齒の一人が前へ出て、びたりと土下座平伏した。「其方は何ぢや」

「御領分高那當村の村役人を勤めまする與惣兵衛と申しまする」

「うむ、それで如何なる仔細あつて斯く門訴を致したか」

「さればにござりまする。何卒御聽き取り下さりませ」

と一禮して與惣兵衛、

「並に南三年の間、御領内は御承知の如き不作に續く不作でござりまして、小前末々の者難儀に難儀を重ねて罷りまするところ、又々今年收穫

主人の一言で、門番も六尺棒を構へた足輕達も逆らふ事も出來ず、門を外して門を開けた。待ち草臥れてゐた門外の村方代表達は各自勝し合つて、足輕共が六尺棒で支へる迄もなく、しんとなつた直之進が靜をついで、

「各々が斯く當邸へ、門訴するに及んだには、深き仔細のある事であらう、各々の顏ひは驚と取調べ、父上とも相談の上、善きは採用致すやう取計らひ遣はすぞ」

「は、有難き仕合せで——」

「何卒、御採用を願ひます、御採用を——」

を前にした二百十日のあの大暴風雨にて、前年にも增して不作、これには小者末々の者到底立ち行き難きので御領内村役人一統の連名をもちまして、今年に限り御上納米二割方の減納の儀を願願仕りましたが、未だに御聽きゝ届けの御沙汰がござりませぬ。……それで末々の者の者達は、打續く不作に自暴自棄とさへなりまして、この上は一揆か逃散か等と不穩の形勢さへ見えまするので、私共村役人達必死にこれを取鎭めまして、一應形儀にお屆まり重ねて願願、こちら樣から御城中へもよろしく御披露願ひたく、私總名代と相成りまして、斯くは御門訴を仕りましてござりまする。何卒農民一同の心情御微察下おかれまして、二割減御年貢上納の儀御聞き屆け相成りますやう、ひとへに願はしう存じまする」

實意兵衛の眞情面に溢れ、はら〳〵と落涙、白髪頭を地に擦り付けた。

依然たる英の重慶援助

クレヂット五百萬ポンド新に許容

近く倫敦で調印の運び

【香港廿一日同盟】（朝日特電）中央通信社ロンドン來電に依れば、イギリスと重慶政權との間に、五百万ポンドの輸出信用借款協定の締結が傳へられてゐたが、近くロンドンに於て調印の運びとなつたと傳へられる　この五百万ポンドのクレヂットは、重慶がポンドブロック内にて機材、武器等を購入せんがためのものである

沁陽地方の豐饒産物

新生河北民衆を潤す

聯銀近づく帶化

中原會戰々果著大

【北京廿二日同盟】中原會戰は軍事的戰果の著大なると共に北支經濟に貢獻する點も甚大なるものがある、沁陽を中心とする同附近の產物を綜合するに同地區の豐饒な產物は中原會戰に依つて匪區地帶の流出路を完全に遮斷され、新生河北民衆への食料として收穫を待つばかりとなり、又通貨の側から見ても同地方の聯銀地帶となる日も近いと見られる

一、小麥

我軍の占領下に入つた孟縣、濟源、西源縣は豐饒用水に惠まれ、農產物特に小麥は豐作で、從來は山嶽地帶に經營してゐた中央軍に徵發され、或は黃河を越えて南方に流失してゐたが、今後は河北の民食として確保され食料問題の解決に寄與するところ極めて大なるものあるとされ、これが買付及貯藏には特別の方法が考慮される事になつてゐる

一、地下資源

焦作炭坑の延長たる清化炭田を中心として地下資源は極めて豐富で、鐵中石炭、鐵鑛は直ちに鐵鋼に着手し得べく、又石油資源も近く本格的に調査が進められる事になつてゐる

一、通化孟縣、濟源、西源縣は舉つて解放地帶が流通して

青少年學徒を御親閱

東條陸相參內

松岡外相參內

青少年學校創立十五周年記念日のけふ廿二日、畏くも天皇陛下の親臨を仰ぎ奉り、午前十時から二重橋前廣場において全國代表三万五千名の學徒御親閱式が擧行された

天皇陛下には陸軍御軍裝にて、君ケ代吹奏裡に玉座に進ませ給ひ

橋田文相の奉讀で、天皇陛下萬歲を奉唱、式は學徒の分列行進に依つて始められた、次いで四千三百名の女子集團は奉唱歌を奉唱、

東條陸相は二十二日午後一時十五分宮城に參內、天皇陛下に拜謁仰付られ、所管事項について委曲奏上、午後二時退下した

松岡外相は二十二日午後二時五十七分宮中に參內、天皇陛下に拜謁仰付られ、所管事項について委曲奏上、午後二時退下した

支那側に移管された史蹟文物

上、南京紫金山の天文台
左、南京城外明孝陵

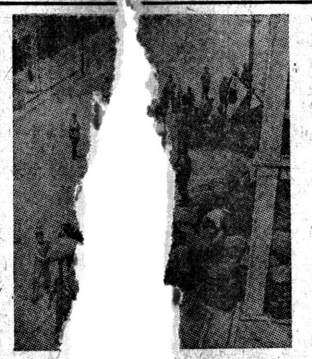
山西五國滅亡の日

流亡萬里

(三)

共產、山西兩軍の爲

戰禍に喘ぐ民衆哀れ



汕尾の良民

カ

二基を備へ、（中略）ケ・ウルフ會社技術部とタンク技師である

學校は休校してゐるし教員會を解散して、新らしく組織された救國會も閉店休業の狀態なので、私はこの上ここで苦勞する必要を認めなかつた、そこである夜二年の塞外生活に別れを告げ、こつそり平綏線の客となつた、大同から軍用トラックの運轉手を買收してシートの下に隱れ、漸く雁門關外の西都岱臨の郊外まで運んで貰つた私は、やつとの思ひで岱臨に入つた

大同も遂に日本の手に

○日に　夜をつぐ工事で同蒲線はこゝまで延びてゐた、私は荷物を店に預けて驛を見に行つた、といふのは同蒲線建設にからむ面白い噂を耳にしてゐたからである、噂によると閻山は某銀の銀行に莫大な預金を持つてゐたが、どういふ譯かその銀行は携帶し

○驛長　夜をつぐ工事で同蒲線はこゝまで延びてゐた、私は荷物を店に預けて驛を見に行つた、といふのは同蒲線建設にからむ面白い噂を耳にしてゐたからである、噂によると閻山は某銀の銀行に莫大な預金を持つてゐたが、どういふ譯かその銀行は携帶し

に聽じないで鐵道材料を支給しようといふ、閻錫山は仕方なく奥へられた使ひ古しのレールや貨車で同蒲線の工事をはじめた、しかし山西と他省との交通路を開くことは閻錫山の山西モンロー主義に反するので、彼は山西保守の大計のために軌道を狹くして外省の鐵道との連絡を不可能にした、だから同蒲線は平綏線とも正太線とも直通出來ないといふのである、しかし私はこの噂を信じたくない

○驛長　行つて見るとまだ建物は完成してゐなかつた、驛長の話によれば「まだ切符は賣つてゐないが誰が乘つても構はない、現在鐵道は大同のすぐ側まで出來てゐるから一兩日內には完成するはずで

○その日の正午、日本空軍が岱臨の上空に現はれたときには傷兵たちは擔架と化して續續列車を襲擊して數萬の現金を搬出し、また全市の銀行や料理屋を調べて食料品を奪つたのである、私は今や食ふに食がないばかりでなく、枕を高くして寢ることも出來なくなつた、その夜私たちの旅館も傷兵に襲撃されたが幸ひ門が堅固だつたので助かつた

私はまた追はれるやうにこゝを出發した

完成すれば鐵事上相當重要な使命を果すであろう」と、あとで私が思つたのは、この鐵道は完成してもわが軍の役にたたないで日本軍に便宜を與へるに過ぎまい、といふのは岱臨に着いて二日目に大同は陷落したと聞いたからである　大同の陷落は私には信じられなかつた、しかしこの消息は岱臨の街を恐怖の嵐のなかに追ひ込んだ

○その日の正午、日本空軍が岱臨の上空に現はれたときには傷兵たちは擔架と化して數萬の現金を搬出し、また全市の銀行や料理屋を調べて食料品を奪つたのである、私は今や食ふに食がないばかりでなく、枕を高くして寢ることも出來なくなつた、その夜私たちの旅館も傷兵に襲撃されたが幸ひ門が堅固だつたので助かつた

私はまた追はれるやうにこゝを出發した

女中入用

尋ね人

香川縣人　根本平一　四十一歲

昭和五年渡伯　住所知りたし

御御存知の方は左記まで御手數ですが御一報下さい

パストス移住地ビトリヤ區

國方利三郎

郵便局　三七八

尋人廣告

左記ノ者ノ現住所承知致度ニ付本人又ハ御存知ノ向ハ至急當館迄御一報御願致度

記

石川縣羽咋郡北大海村字北川尻子八番地

元住所　ソロカバナ線アベレー駅米谷安太郎（書信）

宮崎縣相河郡東郷村大字二一六〇番地

安川　杉男（同）

廣島縣高田郡三田村字柳瀨

新家龜太郎（所在調査願）

大分縣直入郡玉來町大字玉來八七三番地

吉田　光春（同）

愛知縣人

二宮　季松（同）

福岡縣大牟田市

松崎　正氣（同）

岡山縣人

元住所　サンパウロ線ピリラ駅　大倉正夫（同）

福井縣今立郡舟津村西胡江

岡田　等（同）

佐賀縣東松浦郡久里村柏崎三九八ノ二番地

白津　利之（徵兵關係）

福岡縣田川郡赤村大字赤四八〇六番地

繁木　政雄（同）

岡山縣後月郡西江原町一、二四七番地

川合　正夫

大阪府泉北郡大津町出取一二番地

寺田　義一

昭和十六年五月十七日

在サンパウロ

大日本帝國

總領事館

Consulado Geral do Japão
Caixa Postal, 1167,
São Paulo.

求人

市內配達人一名

青少年

半日勞働勉學ニ適ス

御希望の方は午前七時迄に本社工場（御來廠下さい）

時報社

讓店

確實なヱンポリオ賣たし

グロリヤ街八七一

活版印刷

廉價叮嚀調達

R. Frei Simpliciano, 20

サン・ジヨゼー印刷所

荻原善五郎

電話三－五三三八番

美術石版印刷

鹽谷實

聖市タマンダーレ街

郵便局　二五七四番

電話三－三九八〇

日伯齒科醫院

Dr. Rangel pestana, 12-3.o and. Salas 304, 305, 306, 307
Esquina de Largo da Sé

一般齒科
レントゲン科
アルムーア冠
口腔外科

大阪齒科醫學士　林博之
Dr. S. H. Hayashi

齒科醫學士　村上眞一郎

電話二－二〇五九
自宅　電話七－三四九九

耳鼻咽喉科專門醫

ドットル、グルゼル

電氣治療に手術に完備す。ミナスの病院、聖市州衛生局に經驗あり、診療所及び住宅アブ・アルアンテ、ジョアキン・タヴラ街八七六　電話二三八

全支回教徒

イラク救援を決議

【北京廿一日同盟】全支那に散在する回教徒一万が各地の代表及び教徒約一万が集まり、イラク救援の決議を行ひ、更にイラク國首相に激勵電報を發した

獨に出現

胴二つの新鋭機

【ベルリン發】世界一を誇る獨空軍はまた一つ新型の飛行機を加へてさらにその威力を增した、それはコンドルを生んだフオツケ・ウルフ會社製

假の近距離偵察機FW八九、獨空軍が誇つ最初の胴二つの飛行機だ、同機は最新の航空技術的經驗に基いて設計されその特性は驚異的の超スピードにある、しかも回轉性においても攻防武器の裝備（大砲）においても從來のあらゆる追擊機を凌ぐ

尋ね人
香川縣人
根本平一　四十一歲
昭和五年渡伯　住所知りたし
御御存知の方は左記まで御手數ですが御一報下さい
パストス移住地ビトリヤ區
國方利三郎
郵便局　三七八

美術石版印刷
鹽谷實
聖市タマンダーレ街
郵便局　二五七四番
電話三－三九八〇

和文の活版印刷
廉價叮嚀調達
R. Frei Simplicianno, 20
サン・ジヨゼー印刷所
荻原善五郎
電話三－五三三八番

讓店
確實なヱンポリオ賣たし
グロリヤ街八七一

寒くなりました
布こんの御用意として
純日本式の
フトン綿　坐フトン綿
▲フトン綿　キロ八、〇〇〇
▲眞綿　一〇〇瓦八、〇〇〇
▲フトン針　拾本一、〇〇〇
▲フトン糸　一卷一、二〇〇
時報商事部

春の實用向

兒服の作り方

婦人用ブラウスの

實物大型紙6種

戰時下日本の代表家庭雜誌

婦人倶樂部

新年號

借地

特に米が出來

地主　大上高秀

面積　二百アルケーレス

場所　米地　文化植民地　アラサツーバ
米地　大上所有地　パルパライゾ
棉地　コロニアダイジヨウ

借地者が山伐つて毎年二百ミルの借地代三年目に草を植える　賣つても可
アルケール一コント二百三年賦拂利子年一割
大上事務所
七十五　ダイジヨウタカヒデ
大上高秀

新分譲地

▼耕　主　バルボーザ土地會社
▼ピリアニット驛から八キロ米突
▼標　高　五百米乃至六百五拾米
▼地　價　四百ミル乃至一コント
▼支　拂　四回年賦拂ひ

永年バラナに在住する人々の羨望の土地　驚異的の地質と地形　最近視察者日に增し多數　土地購入決定前是非一度御

委細は

日伯産業會社
C. Postal, 3329 – São Paulo
北バラナ、ピリアニット驛　杉谷茂一
Estação, PIRIANITO S. P. R.

ブラタク製糸會社

婦人從業員　募集

條件

一、年齡滿十四歲以上廿五歲未滿の婦人
一、身體强壯なること
一、經驗は無くとも差支へありません

就業御希望の方は、左記宛御申込下さい
詳細なる「就業案內」御送り致します

ノロエステ線ルツサンビーラ驛
チエテ移住地中央市街地

ブラタク製糸會社
ペレーラ・バレット工場
Fiação de Seda Bratac Ltda.
Estação Lussanvira N. O. B.

KITANO GALAN & CIA.

RUA CARDEAL ARCOVERDE, 2617
SÃO PAULO

パラナオーロ種芋

並にパラナ產アレマン種

在庫品豐富　其の他各種類種芋
多少に拘らず御注文に應ず

北野ガラン商會

本店　聖市ピネイロス
カルデアル・アルコヴエルヂ街
二六一七番　電話八一二七六五
支店　リオ市　アヴエニーダ・
ロドリーゲス・アルベス七九一
電話　四三－六七二一

胃部樂倶人

胃號

嵐の佛印を行く

三つ兒部隊のお母樣座談會

（野戰の話、食糧の話、情報と新聞發表）

人口問題と母の對策

座談會

結婚と遺傳と迷信

（むつかしい遺傳の話や迷信の話が分る）

▲赤字家計の更生法
▲教育資金の作り方
▲古い靴下の再生法
▲肺病の療養體驗記

大評判の小說欄

○現代小說　美しき職能　菊池寬
○感激小說　櫻花の國　中野實
○家庭小說　國民花　川口松太郎
○現代小說　生產化粧　竹田敏彦
○母性小說　母よ歎く勿れ　加藤武雄
○感激小說　竹田婦長　菊池以登
○銃後小說　匂ひ刷毛　鳥井代

到着

たしまし

★全病院驚愕

（優しく、雄々しき赤十字看護婦の、眞の姿）

YAMASHITA LINE

山下汽船株式會社

（本社）東京―神戸―門司―大阪―名古屋
（往航）東京―横濱―ニユーオルレアンス―羅府―桑港―横濱―東京
（復航）東京―横濱―桑港―羅府―ニユーオルレアンス―横濱―東京
太平洋岸―フイリピン行貨物積荷引受中

船腹貨物優秀造新型萬噸壹萬壹船用使

丸里山	丸月山	丸彦山
往七月十二日頃	往六月二日頃 復六月廿二日頃	
丸浦山	丸霧山	丸風山
	往六月十五日頃 復七月十七日頃	往六月十八日頃 復七月廿日頃

詳細は左記各社代理店にお問合せ下され度候
（食物船に付き旅客運送は勝手乍ら御斷り申上候）

サントス市　JOHNSON LINE AGENCIES
Praça da Republica 22 Telephone 4694 e 5107 Santos
聖市　L. FIGUEIREDO & CIA.
Rua Libero Badaró, 92 - Phone 2-7125 - S. Paulo

Tsuguo Kishimoto
TRADUTOR PUBLICO JURAMENTADO
Escritorio: Praça da Sé, 62 2.o and. sala, 24
Tel. 2-1137 - C. P. 1124
São Paulo

法律事件一切
官廳諸手續
飜譯及び人事相談
公証飜譯人　岸本永男
聖市プラサ・ダ・セ六二番
二階　二十四號室
郵便局一一二四　電話二－一一三七

AVICOLA JAPONEZA
R. Santa Ephigenia, 598
Tel. 4-4718 C. Postal, 3046
São Paulo
SYSTEMA K.K.
サンタ・アメーリヤ大養鷄場の取次收買致します
當店へ御申込み下さい、內容御說明致します

営業種目
一、孵卵器、育雛器、他器具一切
KK式養鷄器具價格表呈
一、初生雛及雛卵
一、飼料及藥品
一、食用卵收買其の他
黒崎和美

サンタアメリア大養鷄場
高級白レグホーン
カタログ進呈
內容視察歡迎
大型青銅色七面鳥
Dr. M. TOMITA
MAYRINK
ソロカバナ線
サンパウロ

好轉は 時間の問題か

棉價に關する建言書を ソウザ藏相に提出

【リオ廿日發】目下リオ市で開催中の棉花生産州會議に出席中の各州代表からの棉價問題に關する建言書を本日ソウザ藏相宛て提出した、この建言書の内容は、全棉作者並びに棉花輸出業者が目下緊急解決を希求しつゝある最少限度の希望條件を具體案化し之に對する政府側の援護を要求したものである、藏相は民間側との懸橋を果すため、この建言書をヴアルガス大統領に取次ぐ事になつたが、大統領は近く之に關して最後の御裁を下す事になつてゐる

國産機械類を伯國へ 「日本機械館」近く開館 これはまた豪華な企て

サンプルを陳列する爲め、聖市目拔きの適當な場所を物色中の處、昨日愈々確定するに至つた、それによるとボア・ビスタ街九〇番全部を借受けたるわが國の一流機械關係商社數十社の出品を以て「日本機械館」となし、四百八十平方米餘の場所に漸次到着しつゝある機械を恒久的に陳列、戰時下餘裕綽々しめし、輸出貿易擡興に寄與する事になつた

館開館は六月半ばころになるだらうといはれてゐるが開館式には各機械關係商社新聞記者等を招待、盛大なカクテル・パーテーを催す筈である

北米へ 豪華客車を注文

ギマランエス中央鐵道は目下北米の一會社に三組の

ソロ紙イタペチニンガ市で來る六月七、八、九の三日間に亘り、同地方第一回蠶共進會の開かれる事は既報の通りだが、七日の開會式當日にはパーロス執政官以下州政府首腦者が臨席する筈である

◆——

マット・グロッソ州よりこの程農務省に達した報告によれば、ヴアルガス大統領の誕生日を記念するため開州に百校の農村學校を開設した

◆——

ブラジルのマモナ製造はその歷史の淺いにも拘らず、各國の需要の增加、急速な生産擴張を示しつゝあるが、聖州內一九三九年度の生産高は千六百六萬噸、三千五百コントスに達してゐる

◆——

聖市衛生課では來る六月八日（日曜）午後二時からサンジョアキン街三九番のリラ

超豪華客車を注文中だがこの客車は聖市、ベロオリゾンテ間に使用されるものでデーゼル機關車に連結され

と語つた

乘心地から云つても現在のクルゼーロ・ド・スール號に優るものである

俱樂部大サロンに於て、歡迎會を催す

◆——

聖州蹴球聯盟の招聘に應じて來聖中の各蹴球クラブと一戰を交へる筈になつた、國立聖州の蹴球は大體六月下旬と見られてゐる

◆——

聖市トーマス・デ・リーマ街の小川道場では、去る日曜日州名の弟子が集ひ、選手權大

教授すべく寶塚少女歌劇團を聘する

北米を發つた二台の飛行艇は去る廿一日聖市へ到着した

聖州蹴球聯盟の招聘に應じて來聖中の各蹴球クラブと一戰を交へる筈になつた、國立聖州の蹴球は大體六月下旬と見られてゐる

◆——

聖市衛生課では來る六月八日（日曜）午後二時からサンジョアキン街三九番のリラ

産組中央會の五ケ年計畫

邦人農業者の五割を 産組の傘下に糾合

日伯産業組合中央會は現在地方產組二十五組合（內未登錄組合一）を包含し、一九三四年發足以來邦人農業者の

組合事業に必須な資金の融通は最も根本的なもので、

カプテーラ 獻金

て、先般青年團及び女子青年團主催のもとに國產重工業機械類を伯國方面に販路を求め、以て外貨獲得に資し、わが貿易進展を期すべく機械サンプルを擴示して徹底的に認識せしめることゝなし、聖市貿易館所では準備から每日一五センチ半に過ぎぬ狀態となつてゐる

今回水漏の擴大な設備を味は

大相撲春場所

十四日

羽黒の覇業確立か 玉、五ッを降す

大相撲春場所十四日目（廿二日）あす廿四日はいよ〳〵千秋樂、勝つても負けても取組はあと一番、土俵上に必死の力闘がつゞく

優勝旗の歸趨は全く決定した形となつて今度は一敗の羽黒、二敗同志の双葉、照國、玉ノ海いづれが優勝額を揚げるかに興味が移つた、あすは愈々優勝爭ひ興味深い一戰だ

◇

東軍にはあくまで武運拙き五月場所ではある男女、綾若、四海の休場でこの日東軍一層不振に二敗を借り、御嶽の差

十八點となつて了つた

◇

けふ綾び相撲のところまで物言ひもなく双大した番狂はせもなく進んだが、綾び相撲で双葉相手の前田を寄り切り軍配は双葉に上つたが、東の檢査役栗田山から物言ひがつき

眞摯敢闘の跡

照國（肥州嶽命に押せば肥州山（照巨體によく耐へて左四つに渡らんとするを肥州差し手を双手に抱て轉捻りに行く事二度、照よく耐へせば、肥州さらばとまた押して照また怯へて遂に左四つ、照かうなつてはこつちのものとばかり強引に東土俵に寄つて行つたが、肥州しぶとい腰によく耐して左に廻り込む、照今度は行司溜り柱よりに寄り立てながら、一寸上手投を見せてから激しく寄り倒す

玉ノ海　立上るや玉右に脇五ッ島　褌を取り猛烈に寄り立て、五ッ玉の右を抱へ命に依へたが、ジリ〳〵後

小車、追手風、双子山四檢査役の間で協議を重ねる事實に三十五分、場所初つて以來の大物言ひとなつた

◇

かくして取直しと決定、問題の一番が照國の二敗となり兩者突き合つた結果前田突き負けて遂に突き出されて了つた

中入後勝負

輝　昇（寄切り）　小戸岩
倭　岩（寄倒し）　富ノ山
松ノ里（下手投）　若瀨川
豐　島（寄切り）　若　潮
神　風（寄倒し）　鏑ケ嶺
清美川（出投げ）　松ノ里
双見山（出倒し）　兩　國
藤ノ里（寄切り）　富士嶽
十三鬼（突出し）　備州山
二瀨川（押出し）　相撲川
磐　石（下手投）　大邱山
出羽湊（突出し）　九ケ錦
小島川（寄倒し）　神東山
青葉山（打棄り）　鹿島洋
大和錦（突出し）　松ノ山
九州山（同　）　佐渡島
松浦潟（寄切り）　增位山
綾　昇（突落し）　佐賀花
笠置山（浴倒し）　名寄岩
照　國（寄倒し）　肥州山
玉ノ海（寄切り）　五ッ島
羽黒山（肩すかし）　安藝海
双葉山（突出し）　前田山

打出し六時五十分

御點東十一、西十三

累計東百七十一、西百八十九、西方十八點リード

西 189 — 171 東

（十四日目得點）

一九四一年 一月 四月 伯國の通商貿易高

第二次歐洲大戰の結果、伯國と歐洲各國との通商貿易は著しく減少の一途を辿り、殆ど見るべきものはない、然しながら對米交戰國維持との通商貿易はこれに反比例して增加の一途を辿り一九四一年一月—四月間の通商貿易高を一九四〇年度同期と比較すると次の如くである

國名	四〇年度	四一年度
	（コントス）	
南阿	一〇、三七七	一〇、三七七
カナダ	八、六三一	五、六四一
北米	四七、一〇〇	四八、二〇〇
メキシコ	一、二〇〇	五、八〇〇
亞國	一七、一三一	八、六九〇
ボリビヤ	一、八〇〇	三、二〇〇
チリー	五、五二〇	一〇、四三〇
コロンビヤ	一、六三一	五、一八三
ウルグワヤ	一七、三三〇	三、〇一九
ヴエネズエラ	一、六三一	三、九二一
支那	二、九二一	三、九二一
日本	九、三三一	九、三三一

米ラテン アメリカ 新航空路開設へ

（ワシントン廿二日發）米國商務省航空ビジネス、ジョンス氏は新聞記者團に對し、北米歐洲間の新航空路開設問題に關し

この問題は今の處政府側と

一九四一年 伯國の通商貿易高

貸間 アリマス スイジも出來ます

サン・ジョアキン街四三七 電話七・三七五五

蔬菜市場

五月廿二日（コチア產組調）

△キレーラ	六四	五〇、	
△メイオ	六、	二〇、	
カテテ			
△エスペシアール	八〇	八〇	
スペリオール	六〇	六〇	
ボン	ノミナル		
（オザスコ相場）			
豚	ノミナル		
ゴールド	ノミナル		
マーグロ	ノミナル		
マモナ	一キロ 七〇	八〇	
セボーラ・リオ・グランデ	ノミナル		
バンエナ	二〇キロ 二五〇	二五〇	
トマテエスペシアル	一〇〇	九〇	
プリメーロ	八〇	七〇	
セグンド	六〇	五〇	
レギーラ	四〇	三〇	
ピメントン	一〇	八〇	
ベージ	一〇	八〇	
エルピーリア	一〇	八〇	
ポブロンニヨ	一〇	八〇	
ベピーノ	一〇	八〇	
バーデ	一〇〇	八〇	
コーベフロール	一〇〇	八〇	

棉の相場

サンパウロ棉花取引所建値

五月二十一日

單位 十五キロ

	買値	賣値
四級	四二、〇〇〇	四三、〇〇〇
五級	四〇、〇〇〇	四〇、五〇〇
六級	三八、五〇〇	三九、〇〇〇

重要商品市況

五月二十一日

	買値	賣値
◆バタタ	六〇キロ	
アマレーラエスペシアール		
スペリオール	壹	壹
◆小麥粉一號	壹〇	五六〇
アリンヤ		
マンヂオカ	五〇キロ	壹

NOBIS

ブラジルで最優良の ガジミーラはマルカ 「ノービス」です

染色絕對保證、優美な新柄模樣、値段廉價

御出聖の際は是非當店に御立寄下さい

製造販賣元 ラニフイシイオ サンタ・ローザ

聖市ベンヂヤミン・コンスタン

R. Benjamim Constant, 48
Fone. 3-6341 - São Paulo

正確 相馬事務所

土地周旋（郊外・奥地）

迅速

聖市 フェリアベ・デ・オリベーラ街二二番 七階五號室 郵函 四四一八 電話 二—七六〇九

パール レストランテ

Av. S. João, 128 - R. Anhangabaú 3

酒は ヘ井ング ピン

アルモツソ・コメルシヤール 三軒

オーケストラは夜七時から一時 日曜・休日は晝間も

電話 4-5507　電話 4-2626

青年會館建設資金調達 角力大會

今回左記に依り角力大會を開催仕候間 同好者各位奮つて御來援の程願上候

期日 六月八日（日曜日）雨天順延

場所 プロミツソン町に於て

主催 ノロエスチ線プロミツソン驛 プロミツソン靑年聯盟

聯邦農務省御用・聖州農務省御用

果樹苗

セントラル線モヂ驛 郵函三四

本多果樹園

移轉廣告

每度御愛顧に預かり有難く御禮申上げます

拳館事今回左記の御所に移轉 擴張致しましたから何卒倍舊の御引立を御願申上げます

新館は市街の中心にあり サントス港の風光を一眸に集めて 閑靜、寬壯、御乘船、御旅行、その他諸般の御買物 手續等にも頗る便利に、從前に增すサービスを以て皆樣の御來駕を御待ち申上げて居ります

昭和十六年五月十九日

サントス市セツテ・デ・セツテンブロ街三十四

成功館

館主 古謝文子

電話 五二五五

Escritório M. MIZUMOTO

聯邦移植民審議會許可證取得手續

伯國生れ十八歲未滿の海外旅行手續を

確實に取扱ひます

七、八月頃御歸國豫定の方は、ナシメント同封書留速達にて御送附下されば確實に御回答申上げます

水本法律事務所

聖市オンゼ・デ・アゴスト街二八八番二階電話三—一〇九〇郎函三九六二

Rua 11 de Agosto, 288-1.º and. Tel. 3-1090 - C. P. 3962 - S. Paulo

リオ市 アルミランテ・バローソ街九〇番 六階 電話 四二—七六二一

Av. Almirante Barroso, 90-6.º and. - Tel. 42-7612 - Rio de Janeiro

サントス市 ドン・ペードロ・セグンド街十六番 三階 電話 七八九八

Rua D. Pedro II, 16-3.º andar - Telefone, 7898 - Santos

廣告

適應症

△セキズイ病△リようまらす△神經痛△胃腸病△肝臟病△心臟病△腎臟病△婦人病△腦病△ちくのう症△肩のこり△痔疾△淋病△眼病 特にトラホーム△病後の衰弱に神効あり△腦惡るく肩のこり△ちちはれに氣持よい温灸と、もみなをし

附言—マッサージや温灸は氣持よい事は御承知でありますか。灸や鍼は聞いただけで恐がる人がありますが、當院主は長年の經驗により鍼灸は寢た兒がおきないように出來、灸も上手にすれば、そんなにあつい物でありません。

施術聖市各旅館往診無料當分の間萬や旅館に宿泊中 電話二・四四七六

公認 鍼灸醫師 石井一朗

肝油 ハリバ

よくきく、のみよい

告

御書狀を以て無論券大賣ます。扨小生儀かねて奥地邦人集團地を歷訪し父祖傳來の鍼灸マッサージ療法にて死を宣告せられたる胃腸病、肝臟病、盲腸炎や一生不具者を覺悟せる脊髓炎、骨膜炎、リヨウマチス、神經痛を全快せしめ多數の患者より億大なる効果に絕讚の感謝を賜り私共使命重大なるを信じ、ここに惱める同邦の爲治療所をサンパウロ市コンデ街ホテル萬平に置き職業に御奉公致す考であります、御承知の通り鍼灸マッサージ療法は日本に於て醫學大家が其の効驗著しき事を確認せられ大いに推奨せられつゝあり、迷はず醫術者は來りて每快の喜びを得られよ。

敬白

先祖傳來の家傳と公認免許を得てより二十有余年の貴き體驗は來りて其の眞價を知られよ。

昭和十六年五月廿二日

Redação — Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H

Director Masahiro Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno ..... 60$000
" Semestre ... 30$000
Numero do dia .... 300 reis

Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIV — S. PAULO — SEXTA FEIRA 23 de MAIO de 1941 — DIARIO No 2483

Conselho de Expansão Economica do Estado de São Paulo

Sessão Presidida pelo Sr. Adhemar de Barros

Sob a presidencia do sr. dr. Adhemar de Barros, Interventor Federal, realisou, hontem, o Conselho de Expansão Economica do Estado mais uma de suas sessões ordinarias do corrente mez.

Achavam-se presentes, além do sr. José Levy Sobrinho, Secretario da Agricultura, os conselheiros Alvaro Rodrigues dos Santos, Benedicto Roberto de Azevedo Marques, Carlos Alberto Vanzolini, Mario Whately, Oswaldo Reis Magalhões, Pinio de Oliveira Adams e Roberto Simonsem.

Pelo secretario interino, sr. Mario Corrêa de Mattos, foi lido o expediente, de que destacamos os seguintes documentos: officio da Secretaria da Agricultura sobre a montagem de um pavilhão na futura Feira Nacional de Industrias, para mostruario de mercadorias de outros Estados: officio da Secretaria do Governo, encaminhando telegramma da Associação dos Empregadores da Industria de Beneficiamento de Borracha no Estado do Amazonas; idem, da mesma Secretaria, encaminhando requerimento do sr. George Loreto Golleti, sobre companhia de navegação; officio do mesmo senhor, sobre identico assumpto; telegramma dirigidos ao sr. Interventor Federal, e por este encaminhando ao Conselho, de lavradores de Ribeirão Bonito, Catanduva e da União de Lavradores de Algodão de São Paulo, solicitando providencias com relação á situação do algodão; telegramma do sr. Diniz Junior communicando haver passado a presidencia do Instituto Nacional do Mate ao dr. Carlos Gomes de Oliveira em virtude de haver sido designado pelo Presidente da Republica, para desempenhar as funcções de conselheiro commercial no Ministerio das Relações Exteriores; e processo da Secretaria da Fazenda sobre impostos.

Na ordem do dia, o sr. Oswaldo Reis de Magalhães, fazendo uso da palavra deu a conhecer ao Conselho uma reclamação da Assoc. Commercial Industrial e Agricola de Tatuhy, no sentido de solucionar a situação afflictiva das industrias daquella cidade, em virtude da falta de energia electrica.

Fez, tambem, uso da palavra o sr. Roberto Simonsem, que tratou da organização, em nosso Estado, da Feira Nacional de Materias Primas, tendo sido focalisadas diversas modalidades no sentido de ser facilitado o intercambio destas materias primas entre os Estados.

Após falar o sr. Plinio de Oliveira Adams, sobre a situação algodoeira, e fazer ressaltar o interesse com que a classe vem aguardando os resultados da Conferencia Algodoeira, que ora se realisa no Rio de Janeiro, sob a presidencia do Ministro Sousa Costa, o sr. presidente encerrou a sessão, tendo, antes, porém, feito s. exc. uma ligeira exposição sobre as actividades goivernamentaes no sentido de de fomentar o expansionanista das forças economicas do Estado.

Publicidade sobre productos pharmaceuticos

RIO (Pelo telephone) — No gabinete do director geral do DIP, e sob a sua presidencia, realizou a sua reunião inaugural a commissão encarregada da regulamentação da propaganda de medicos e productos pharmaceuticos.

Apresentando as finalidades da reunião, o sr. Lourival Fontes recordou a recente resolução do Presidente da Republica, no sentido de ser estudada uma nova regulamentação da propaganda de medicos e de productos pharmaceuticos, attendendo á exposição encaminhada pelo DIP e fundamentada nas representações recebidas do Syndicato dos Proprietarios de jornaes e Revistas e da Associação Brasileira de Imprensa.

Debatidas as primeiras suggestões, foi marcada nova reunião, tendo antes deliberado a commissão acclamar seu presidente o dr. Lourival Fontes, e escolher, para vice-presidente o secretario, os drs. Roberval Cordeiro de Farias e Helio Silva.

1ª Feira Agro-Pecuaria do Brasil Central

De volta do Triangulo Mineiro, o sr. dr. Fernando Costa, Ministro da Agricultura, presta interessantes declarações á imprensa sobre o importante certame — Varias

RIO, 21 (Pelo telephone) — Em declarações á imprensa, o Ministro Fernando Costa, que foi alvo de carilhosa homenagem no Triangulo Mineiro, assim se referiu ao significativo, acontecimento ruralista ali verificado.

— «Graças ao decidos apoio do Presidente Vargas, que autorizou, com enthusiasmo, a construcção do recinto de exposições de pecuaria em Ube[illegible]rarem os criadores do Trianeiro e dos municipios vizinhos ir ao paiz os mais bellos das raças Gir, Nellore, Guo typo Industrial, consaim, em definitivo, o trabada implantação do zebu' combatido.

tou que o extraordinario criador triangulino estava do governo a justa homehe era devida e agora trimaneira a mais significa-

eculo, — disse o Ministro. agro-pecuaria de Uberaba rte crise, em consequende preço dos cereaes e desvalorização dos seus gado crioulo, quando alforam utilizados, (com amento com as minguastentes. Decorridos pou«Bos indicus» dominava e estendia por todos os inas Geraes e se infilgiões de Goyaz e Matsa diffusão do 'Zebu' Central não trazia, entreimoramento zoo-technico contecendo que, pela falta ctores seleccionados, eram os 3/4 e 7/8 de sangue puro os mais procurados, degenerando, dessa forma, as criações em desenvolvimento.

Conferencia Nacional de Legislação Tributaria

Recebidos pelo Chefe da Nação os representantes estaduaes ao importante certame

RIO, 20 (Pelo telephone) — Sexta-feira, ás 21 horas, realizar-se-á a sessão de installação da Conferencia Nacional de Legislação Tributaria.

Essa, reunião, para que foram convidadas todas as altas autoridades federaes e municipaes, terá caracter solenne, pelo que o Cnselho Technico de Economia e Finanças está encarecendo junto aos delegados a necessidade de comparecerem em traje de cerimonia.

ALMOÇO A'S REPRESENTAÇÕES

O sr. Valentim Bouças, na qualidade de secretario do Cnselho technico de Economia e Finanças, offerecerá naquelle dia almoço ás diversas delegações que comparecerem á Conferencia. O almoço realizar-se-á no Jockey Clube.

AS DELEGAÇÕES NO CATTETE

O sr. Presidente da Republica recebeu em audiencia especial as delegações estaduaes á Conferencia Nacional de Legislação Tributaria.

Cerca de 120 representantes estiveram com o Chefe do governo, tendo o sr. Valentim Bouças, secretario do Conselho technico de Economia e Finanças, falado sobre a conferencia, dizendo que esta nada mais era do que a concretização do programma traçado por s. exc., pois tivera origem, pode se dizer, nos trabalhos da 1.ª Conferencia dos Secretarios dos Estados Ceiros, seguida da Conferencia dos Secretarios de Estado.

Mais tarde, em novembro de 1, ficará deliberado que se faria uma meira conferencia sobre contabilidade publica e assumpto fazendeiros.

O sr. Secretario do Conselho Technico de Economia e Finanças, deu, em seguida, a palavra ao sr. Pernambuco Filho, que, em nome de todas as delegações saudou o Chefe do governo, tendo s. exc. agradecido.

PRODUÇÃO NACIONAL DE RAMIL

RIO, 21 (Pelo telephone) — Foram recebidos pelo Ministerio da Agricultura, os installadores da Nippo-brasileira de Ramie, os quaes apresentaram um completo mostruario de todos os fios tecidos de ramie feitos em nosso paiz e no Japão.

O Ministro resaltou o extaordinario valor da ramie, que é utilizada na fabricação dos mais finos tecidos, substituindo o linho, de paraquédas, asas de avião, pannos para fitração, malhas, pellucia, cordas, fios, correias linhas de pesca, rédes, velas, explosivos, coliulose, esta empregada até na confecção de papel de notas bancarias, etc.

Lembrou um dos agronomos que o panno das mumias, considerado grande enigima para a sciencia, durante varios seculos, era feito com ramine, segundo concluiram as pesquisas technicas. Na verdade essa fibra é a mais duravel, a mais forte, e constitue o mais leve tecido de todos que existem.

Pois, bem, a ramine que já é produzida no Brasil em pequena escola, se tansformará em futuro proximo, numa grande fonte de riqueza nacional.

Esse é objectivo da Nippo-Brasileira de Ramie, uma organização Nacional e representante, na America do Sul, da Tokio Ramie Spinning Cia. Ltda., que é, no genero, a maior industrializadora de todo o mundo.

A Nippo-Brasileira, devidamente autorizada pelo governo, se propõe fazer a exploração industrial da fibra de ramie, mediante a installação de machinas aperfeiçoados para o seu beneficiamento e aproveitamento na fiação, tendo já estimulado sua plantação.

O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

Producção de oleos vegetaes no Brasil

101.141 Toneradas no valor de 156.844 contos em 1939

RIO (Via Vasp) — O Ministerio da Agricultura informa que, de accordo com os dados elaborados pelo Serviço de Estatistica e Producção, o Brasil produziu, em 1939, 101.140.790 kilos de oleos vegetaes, no valor de 156.844 contos de réis, contra 102.7939 toneladas, no valor de 179.642 contos, em 19938; 82.072 toneladas, no valor de 146.593 contos, em 1937; 74.332 toneladas, no valor de 140.479 contos, em 1936 e 46.508 toneladas, no valor de 79.321 contos, em 1935.

Essas quantidades se referem em geral ao oleo produzido nas fabricas.

Em 1939, a producção, por Estados, foi a seguinte: Pará, 2.400 tons. no valor de 4.189 contos de réis; Maranhão, 1.991 tons. no valor de 3.5[illegible] contos; Ceará, 4.523 tons. no valor 10.996 contos; Rio Grande do No 1.287 tons., no valor de 1.425 tos; Pernambuco, 4.366 tons., e 7, contos; Alagoas, 406 tons., e 515 tos; Sergipe, 721 tons., e 991 co Bahia, 2.341 tons., e 6.250 con Rio de Janeiro, 53 tons., e 37 con Districto Federal, 5.648 tons., e 18.6 contos; São Paulo, 67.383 tons., 80.838 contos; Paraná, 17 tons., e contos; Sta. Catharina, 34 tons., e contos; Rio Grande do Sul, 4.230 ton e 14.129 contos e Minas Geraes, 7 toneladas no valor de 1.312 cont de réis. Somente o Estado de São Pa lo produz 68% da producção br leira de oleos vegetaes, seguindo o pois o Districto Federal, com quasi 6% Ceara, Pernambuco e Rio Grande do Sul, com pouco mais de 4% cada um; Parahiba, com 3,6%; Pará e a Bahia, com 2,3% cada um, completando os demais o total da nossa producção computada.

Dada a enorme procura que vem tendo os oleaginosos brasileiros, é lle esperar um desenvolvimento maior da sua producção. Visando apparelhar-se para melhor intervir nessa questão, o governo vem não só incentivando o plantio racional dos oleaginosos, como tambem cuidando da padronização do producto exportavel, além de já ter restabelecido a cadeira de oleos vegetaes na Escola Nacional de Agronomia, para a formação de technicos especializados, e o Instituto Nacional de Oleos, que já tem séde provisoria nesta capital, devendo dentro de dois annos ser definitivamente installado no km. 47, nas dependencias do Centro Nacional de Ensino e Pesquisas Agronomicas da estrada Rio-S. Paulo.

Alterando o regulamento de fiscalização das cooperativas

Via Vasp) — Alterando trechos mento de Fiscalização das o Presidente da Repu o seguinte decreto:

— O artigo 1.º do reprovado pelo decreto n. de março de 1940, passa lacção em seu paragrapho rescido de um paragrapho, seguinte:

3.º — A fiscalização por inisterio do Trabalho, Inmmercio exercida, nos Esrespectivas Delegacias Re Districto Federal:

lo Departamento Nacional e Commercio, tratando-se va de consumo;

lo Departamento Nacional o, tratando-se de cooperatilho e de producção indu-

o Conselho Nacional do Trando-se de cooperativa de

pho 4.º — Competirá ainda o do Trabalho, Industria e bor intermedio do Depar nal de Seguros Privados zação, a fiscalização das co de seguros, segundo a legisla especial que lhes é applicavel.

o 2.º — O presente decreto en vigor na data da sua publicação, revogadas as disposições em contrario».

Accões da Cia. siderurgica nacional

Alterada a redação do artigo 2º do decreto-lei 3.173, de Abril ultimo

RIO, 20 (Pelo telephone) — Alterando a redacção de um artigo do decreto-lei que regulamentou a tomada de acções da Companhia Siderurgica Nacional, o sr. Presidente da Republica assignou o seguinte decreto-lei:

«Artigo unico — O artigo 2.º do decreto-lei 3.173, de 3 de abril de 1941, passa a vigor com a seguinte redacção:

«Artigo 2.º — Os institutos e caixas de aposentadoria e pensões, e as caixas economias federaes do Rio de Janeiro e de São Paulo, ficam autorizados a subscrever as acções preferenciaes da Companhia Siderurgica Nacional.

Paragrapho 1.º — EEnquanto os lucros liquidos da companhia, apurados annualmente, não permittirem a distribuição do dividendo de 6 % ao anno das acções preferencias, a União Federal garantirá ás mencionadas instituições, aquellle juro, ou a differença verificada entre o dividendo que fôr distribuido e aquella taxa de juros de 6%.

Paragrapho 2.º — Se occorrer a hypothese do paragrapho anterior, a União Federal será posteriomente inrem a taes acções, na fórma do artigo demnizada pelas instituições, logo que ellas recebam os excessos que coube-lhe, dos estudos da Companhia Siderurgica Nacional».

Producção de oleo de mamona

RIO (Via Vasp) — A mamona é nativa e abundante no Brasil. Seu cultivo nacional data de pouco tempo, sendo aproveitada para a extracção do oleo, um optimo lubrificante empregado na aviação. E' crescente a producção brasileira do oleo de mamona.

Segundo informa o Serviço de Estatistica, do Ministerio da Agricultura, em 1935, produzimos 2.833 toneladas, valor de 4.906 contos: em 19936, 2.605 toneladas e 5.307 contos; em 1937, 2.686 toneladas e 5.335 contos; em 19938, 3.679 toneladas e 6.367 contos. Em 1939, alcançamos maior producção: 5.789 toneladas, no valor de 9.035 contos de réis.

A producção por Estados, em 1939, foi a seguinte: Pará, 32 toneladas no valor de 52 contos; Piauhy, 41 toneladas e 57 contos; Pernambuco, 995 toneladas e 2.462 contos; Alagôas, 10 toneladas e 25 contos; Sergipe, 82 toneladas e 134 contos; Bahia, 620 toneladas e 1.835 contos; Districto Federal, 6 toneladas e 23 contos; São Paulo, 1.606 toneladas e 3.500 contos; Rio Grande do Sul, 246 toneladas e 497 contos e Minas Geraes, 151 toneladas no valor de 454 contos.

Em 19399, produzimos 121.607 toneladas de bagas de mamona, no valor de 65.227 contos, sendo de 115.535 hectares a area cultivada.

A fabricação do oleo no paiz, embora em desenvolvimento, é ainda pequena diante da producção da materia prima, que na maioria, se destina á exportação.

Cultura da carnahubeira na Parahyba

RIO (Via Vasp) — A carnahubeira é uma das plantas mais preciosas do Norte do Brasil. Dela se extrae a cêra, de grande procura nos mercados e, por isso, muito valorizada. Um carnahubal na verdade, vale mais que um cafésal, um laranjal ou cacaual.

Emquanto, porém, o cafeeiro e as laranjeiras são cultivadas racionalmente, fazendo o progresso de regiões do sul do paiz, os carnahubaes nordestinos são praticamente aquelles que a natureza nos legou.

Até a pouco tempo ninguem pensava em plantar essa palmeira, nem mesmo proteger efficientemente as plantas novas que cresciam. Felizmente, essa mentalidade rotineira está desapparecendo. Varios agricultores intelligentes, aconselhados pelos technicos, começaram o plantio da arvore, que representa uma das maiores riquezas do Nordeste. O exemplo partiu do Ceará e na Parnahyba surgem agora as primeiras plantações.

Communicação chegada ao Ministerio da Agricultura informa que, no municipio de Souza, o proprietario José Ferreira está cultivando 50.000 carnahubeiras, enthusiasmando os demais agricultores, que vão, assim, adoptar a mesma pratica.

Aos interessados é aconselhado o folheto «A Carnahubeira», do agronomo Pimentel Gomes, trabalho esse que pode ser obtido na Secretaria da Agricultura da Parahyba.

Tambem a Secção de Fomento Agricola Federal, em João Pessoa, poderá fornecer aos lavradores as informações e a assistencia de que necessitarem.

CONSTITUIÇÃO DO CONSELHO SUPERIOR DE ECONOMIA DA GUERRA

RIO, (Pelo telephone) — O sr. Presidente da Republica assignou decreto approvando a redacção abaixo para o artigo segundo do regulamento para o conselho superior e Caixa Geral de Economias da Guerra—

«Fica assim redigido o art. 2.º do Regulamento para o Conselho Superior e Caixa Geral de Economia da Guerra, approvado pelo decreto n.º 22.139, de 25 de novembro de 1932, na parte que diz respeito aos membros permanentes do Conselho:

«Art. 2.º — O Conselho Superior de Economia da Guerra, que se reunirá, ordinariamente, uma vez por mez, é constituido dos seguintes membros permanentes:

Ministro da Guerra, presidente; director do Serviço de Intendencia do Exercito, thesoureiro e director da C. G. E. G.; director do Serviço de Engenharia do Exercito; director do Serviço de Saude do Exercito; director de Moto-mecanização; um secretario, o official intendente de que trata o regulamento do gabinete do Ministerio da Guerra, sem direito a votos».

Instituto de Cultura Physica Japoneza

Encerra-se definitivamente, no proximo dia 15 de junho, o prazo para apresentação de originaes ao segundo concurso literario promovido pelo Instituto Brasileiro de Cultura Japoneza, com séde á praça Getulio Vargas n.º 2, 1.º andar, nesta cidade.

Dentro de poucas semanas serão publicados os nomes dos que farão parte da commissão julgadora do certamen.

Ao candidato collocado em primeiro logar, caberá o premio de cinco contos de réis.

Um valor! Uma oportunidade!
Um excelente negocio!
Na Colonia Nipponica!
"ANNUNCIOS"
Sirva-se dos
do
"NOTICIAS DO BRASIL"
Rua Fagundes, 196 - Phone 7 4670
Caixa Postal, H. S. Paulo

世紀の英雄（えいゆう）

（百二）

三文都市（十三）

番外（上映上）

伸二

岩田達夫が鄭田美惠子を力づけて彼女に更生のきざしがみえたその日から三日たって皮肉にも、碧川霜子の死があった。

霜子は死んだ。

岩田達夫の腕に抱かれて死んだとはいへ、それは淋しく悲しい死であった。

嫁にその寂しさを一段と思はしたのは、彼女の友人達の見舞ひが何故か少かったことである。

鄭子が来なかった。あけみの姿も見えなかった。その枕許に来てくれたのは大和智津子一人きりである。

霜子は、スターとし、又人間として敏腕してゐる智津子の見舞ひを何よりも喜んでゐるかのやうにみえた。

あの火が消える瞬間、ぱっと燃えさかるやうな状態にも似た、死の直前の明朗さで霜子は言ふのだ。

「岩田さん、美惠子さんを[illegible]

倒をみてあげてね。氣の毒なひとだわ」

矢張り何もかも見透してゐる霜子の言葉だった。岩田はそれに對して無條件にうなづいてみせることが出來る。

「それからこゝへはみえて無いけれど、あけみさんね——あのひと、岩田さんの事が好きなんでせう。だったら」

「餘計な事を心配しなくてもいゝんだ。君はそれよりも自分の身體を心配したがいゝ。さう言つても、霜子はそのすき通つたやうな蠟色の顏にかすかに微笑を浮べてゐるだけであつる。解つてゐる。一切はよく解つてゐる、と言ひたげな謎を含んだ微笑であつた。あれ程聰明な智津子もかうした時にも近い狀態の霜子に會ふと、一介の人間に落ちざるを得ない。

「霜子さん、あたし、もつと前から友達になつてゐたかつたわゝ——

「あら、あたし、でもじつと

[illegible]に来る鄭子達の少い事を不審に思つたのであつた、がその心配が如實に塊れて來たのだ。

それは鄭子もあけみも、伊藤醫師から離れて資本側についてしまつたことだ。笑知とはしての出來事である。何故なのか？それはきゝたすにはあまりに解りすぎた事かも知れぬ。

彼女等に自分の職場がとられるのが何より悔かつたのである。たゞその中に、大和智津子だけは眞として岩田達の味方であつてくれる。それだけに專務が彼の傷彼女を憎むたとへ彼女の援けることにより鄭都レビューが製失しても彼女を誠自にすると言つてきかない。またその通りに實行した。

かうして一と月たつた。但し皮肉な事に醫樂部だけは復職を許された。これは、大和智津子への當つつけか。そして父牟月醫過する。

[illegible]から貴女をみてゐたし、大好きでしたわ。貴女つて誰にだつて好かれてゐるの。鄭都レビューのアイドルだつたんですもの」

「何を言つてゐるの。あたしなんぞそんな價値なんぞありはしないし、自分は身につかない言葉を伸びるがつては言つてゐたの。氣取りやゝいやな、あたしよ」

「そんな事なくつてよ」

それきり默りこんでしまつた霜子は急に呼吸が苦しくなり胸の波が高まる。醫師はそれが臨終である事を告げた。

岩田は、何度か霜子の名を呼んだ。然し最早彼女は答へやうとはしない。透明な死が岩田達の間にしづかに〳〵に横たはつてゐる。

[illegible]式もそこ〳〵にして岩田はまた醫師達部に戻らねばならなかつた。然し一刻霜子の死を忘れるために、我が身をこなし〳〵にするやうな仕事に當りたいとそれがつた。

霜子の臨終の時に、見舞ひ